

杏林医学会 第15回例会 開催報告 「第3回杏林大学再生医療フォーラム」

医学部第二内科学教室

吉野 秀朗

医学部整形外科学教室

市村 正一

2016年1月18日、第15回杏林医学会例会として、杏林大学医学部再生医療プロジェクトチーム主催、杏林大学大学院医学研究科共催による「第3回杏林大学再生医療フォーラム」が臨床講堂に於いて開催された。

急速な高齢化が進行する我が国では、介護が必要になる原因としてロコモティブシンドロームである運動器疾患が増加しつつあり、その代表的疾患である変形性関節症は軟骨変性を基盤としている。

フォーラムでは、最初に杏林大学医学部救急医学教室の海田賢彦先生より「脂肪組織由来再生幹細胞 (Adipose-

derived Regenerative cells; ADRCs) の熱傷創に対する治療効果」と題してご講演いただいた。その後、佐賀大学医学部臓器再生医工学講座の中山功一先生を特別講師にお迎えし「バイオ3Dプリンタを用いた臓器再生の試み～整形外科領域からの挑戦～」と題した、変性、消失した関節軟骨の再生を中心にバイオ3Dプリンタを応用した最先端の再生医療の試みについてご講演いただいた。

本学における再生医療の研究体制を整える上で大変有益な講演となった。